

エジプト招待プログラムに参加して

広島県立広高等学校

1年 石田 兼誠

私がこのプログラムに参加したいと思ったのはエジプトの文化や歴史を学びたかったからです。幼いころから私は建築工学に興味がありました。本や映像で見る建築物とは違い、実際に自分の目で見て感じる事ができるこのプログラムは自分の意欲を今以上に向上させてくれるものだと思われました。

今回の観光で特に印象に残っているものにエジプト考古学博物館があります。ツタンカーメン王の黄金のマスクや、10ポンド札になっているカフラー王の像など古代エジプトの至宝が展示されていました。それらは何千年も前のものとは思えないほど保存状態がよく、装飾も凝っていました。ツタンカーメン王の黄金のマスクはまさに黄金の輝きを見せて、きれいすぎて不気味なほどでした。様々なことを思い描きながらまわった考古学博物館は神秘的でした。また、オベリスクや、以前から興味があったピラミッドを目の当たりにし、想像をはるかに超えるスケールに、胸が高鳴り、鳥肌が立つほどの思いでした。私は古代エジプト人が現代技術なしであの壮大な建築物を作っていたことに驚愕しました。

その他にエジプトで心を打たれたことと言えば、人情豊かなエジプトの人々です。多くの笑顔で活気あるエジプトの街は温かみがあり、私たちをやさしく迎え入れてくれました。その雰囲気はどこか私の住む町と同じようなところもあり、心地よいものでした。

私はこのプログラムを通して建築物や歴史、異文化体験や現地の人々とのコミュニケーションなどをおしてここに書き表せないほどのものを学ぶことができました。それらのことすべてはこれからの私の将来に役立つことだと思います。このプログラムに参加させていただけたこと、そして招待して下さったエジプト・アラブ共和国のエルシーシ大統領に感謝の気持ちでいっぱいです。

